

- * 高難度の工事を可能にする高い技術力
- * 「優良企業」として各官庁から認定
- * 現場の声を積極的に吸い上げる柔軟な社風

●設立 1966年(昭和41年)
 ●代表取締役社長 森崎 英五朗
 ●資本金 3,500万円
 ●従業員数 100名

〒960-0231
 福島県福島市飯坂町平野字東地蔵田8-1
 TEL / 024-543-0511
 FAX / 024-543-0514
<http://www.kotobuki-c.net>
 InstagramID / kotobuki_kensetsu

寿建設株式会社

土木工事業



採用情報(2019年3月以降)、
 各種申し込み・
 問い合わせはこちら

撮影：山崎エリナ

高い技術力と品質で
 人々の生活を守ります



弊社は設立53年を迎える歴史ある土木工事業会社です。創業者が東栗子トンネル工事に参加したのをきっかけに福島市に会社を設立。平成に変わる頃からは地場ゼネコンとして、国や県・市町村からトンネル工事だけでなく土木建設工事や民間工事も多く請け負っています。平成14年頃からはメンテナンス工事に本格参入。トンネル補修を始めた土木建造物補修の受注で、鉄道・高速道路事業者など顧客の幅も広がり、景気の動向に左右されない安定した経営が実現しました。当社の起源は曾祖父が北海道炭鉱のトンネルで学んだ技術を出身地の大分県で技術者たちに伝えたことにあります。映画「黒部の太陽」でも有名な黒四ダムなど全国のトンネル工事に参加してきました。

長年のノウハウを生かした専門技術と徹底的にこだわった品質・安全管理は弊社の特徴であり「寿ブランド」として誇りにしています。その「寿ブランド」を支える社員一人ひとりのために、モチベーションを高められる社内の制度を整えることが、社長である私の役目だと思っています。建設業は大変な仕事ですが、人々の生活に必要な不可欠なものを作り上げ、その生活を守る「かっこいい」仕事でもあります。その魅力を知り、仕事にやりがいや達成感を感じてもらえればうれしいですね。

MESSAGE

CORPORATE

●トンネル工事

トンネル工事の施工及びトンネル建設マネジメント。

●一般土木工事

国・県・市町村などの道路や構造物に関わる公共土木工事、民間企業の土木工事など。

●メンテナンス工事

主にトンネルの老朽化対策の補修工事や、橋梁補修工事。

ほか

05

「三方よし」の高い技術と確かな品質で選ばれる企業に



舗装修繕の様子。人々の安全で暮らしやすい生活がこうやって守られている



実際に従業員の提案から生まれた「ハツリ・ガード」。扱いも簡単なよう工夫されている



橋梁補修の出来形管理(精度を評価し技術の度合いを管理すること)

「私の提案制度」で現場の声をカタチに

「寿建設の確かな品質を支えているのは現場の声」だと森崎社長は言う。「現場ではそれぞれの社員が仕事に対して不便を感じていたり、自分なりの工夫をしていたりするもの。そうした現場の声を社内でも共有し、不便を便利にできたら現場の環境がより良くなるのでは」と始められたのが「私の提案制度」だ。

同社では全社のＩＴ化を進め、ＨＰやクラウドなども活用して情報を共有している。「私の提案制

の施工方法から漏水原因箇所を特定しピンポイントの小規模工事で導水・排水できる。美観を損なわず効果的に漏水を防ぐ画期的な工法だ。全国から採用の声が多数上がっているが、「何よりも品質を重視して受注する」という信念のもと、案件を厳選して受注し無理な受注はしない。特化した技術に加え、間違いない品質こそが寿ブランドの証なのだ。

度では、どの社員からでも提案を受け付け、その内容を逐次情報共有しているのだ。一つひとつの案が会議で協議され、良い内容については早速実践。提案者には採用・不採用にかかわらず参加賞が、優秀な内容には別途賞金が授与される。生産性の向上や作業コストの縮減などに有効な年間70件程度の提案があり、その中から2件が



細やかな配慮の仕事ぶりが多くのスタッフに信頼され、重要な存在を担う女性職長(右)

実用新案を取得し商品化され、現在販売されている。例えば、ハツリ片(構造物を削る・砕くなど)で出る破片の飛散を防止し、作業中・第三者への安全を配慮した「ハツリ・ガード」もその一つである。自分が提案した内容が認められ、しかも商品化まで結びつく可能性があるというのは社員にとって大きなモチベーションとなるだろう。

やる気と「造る喜び」にあふれる人材こそ同社へ！

社員を大切にする姿勢は現場の活性化にも結びついている。工事第二部所属の齋藤遼太さんは「会社説明会で実際の現場を見た時に、生き生きと楽しそうに働く社員の姿が印象的でした」という。コミュニケーションをとりながら協力して作業を行うことが多い現場では、社員間の雰囲気は何より大切だ。社内の和を大切にし、みんなが意欲的に働ける環境が整っているからこそ言葉だろう。

現場では女性社員の姿も見られる。寿建設では、国土交通省で東北初の現場代理人に認定された女性土木技術者がいるほか、職長(現場作業を指揮する役職)として活躍する女性作業員もいる。全力で働く社員に性別は関係ない。まだまだ男性の比率が多い建設現場だが、能力があれば男女関係なく昇進し、より重要な仕事を任せられるようになるのだ。「大切なのはやる気。そしてインフラを造ることや守ることに達成感や喜びを感じる、ことができるかだ」と森崎社長。

実際の仕事ぶりや魅力を伝えるべく、現場の様子を国際的に活躍する写真家・山崎エリナ氏に収めてもらっている。この誌面に使用した写真もすべて山崎氏によるものだ。他の写真はインスタグラムでも掲載。ホームページやブログも充実している。気になる方は一度のぞいてみてはいかがだろう。



道路上にある小面積の舗装修繕作業の様子。通行中の車両・人への安全確保に対する配慮を欠かさない。彼らのこのような作業の積み重ねで、私たちは道路を快適に走れるのだ



(左)現場では女性土木技術者も活躍している。(中央)地下水路トンネルの補修作業。人の目にふれない場所にも大切な仕事がある。(右)片側通行止めをのてのトンネル補修

特許を生み出す技術力で数々の表彰や認定を受ける

寿ブランドへの高い評価は数々の表彰や認定が証明している。厚生労働省の「安全衛生優良企業」認定は東北の建設業初の快挙だ。他に、国土交通省「工事成績優秀企業」や経済産業省「健康経営優良法人」にも2年連続で認定。これら3省の認定を全て受ける会社は全国でも珍しいという。

なお、寿ブランドといえるのはトンネル補修に関する特許を3件取得しているという強みもあるからだ。これも「買いい手」である発注者の満足を支える高い技術力を証明している。その一つ「点導水工法」は、トンネル損傷の原因となる漏水を防ぐ新手法。建設当時

「三方よし」という言葉を「存じだろるか」「売り手よし」「買いい手よし」「世間よし」の三つの「よし」が大切だという商人の心得を表したものだ。寿建設は、この「三方よし」の考えのもと、発注者はもちろん、「世間」にあたるエンドユーザーにまで配慮した工事を心がけている。具体的には、工事現場の清掃や花を飾るなどの美化活動、掲示物などを工夫し分かりやすい誘導に努めるなど。一つひとつは小さいこともかもしれないが、日々のこれらの心遣いが地域住民の信頼を得ることにつながり、「寿建設なら任せて大丈夫」と言われるまでになった。